

2021年度事業報告

1. 研究広報事業

(1) 講演会の開催

2021年度は実施していない。

(2) 第43回沖縄研究奨励賞

沖縄の地域振興及び学術振興に貢献する新進の沖縄研究者の発掘をめざす第43回沖縄研究奨励賞は、選考委員会により最終選考された下記の2名を受賞者に決定し、賞状及び研究助成金を贈呈した。本事業は、7月15日から全国の報道機関、学協会、その他研究機関等の協力を得て推薦応募を開始。9月末日締切りまでに全国から20件の応募があった。1月19日那覇市内のパシフィックホテル沖縄で贈呈式を予定していたが、猛威を振るうコロナ禍を考慮のうえ贈呈式を中止し、受賞者に本賞及び副賞(目録)を19日付で送付した。なお、受賞者の授賞理由を『沖縄協会だより』第22号(2022年1月発行)に収録し、また、第23号(2022年3月発行)に受賞者研究題目の要旨とこれからの抱負、当協会主催者挨拶、沖縄県知事祝辞を収録して関係各方面に提供した。

自然科学部門受賞者

小野 尋子 氏(琉球大学工学部・教授)

研究題目: 「沖縄本島内駐留米軍基地跡地利用計画に関する一連の地域提案型研究」

社会科学部門受賞者

萩原 真美 氏(聖徳大学大学院教職研究科・准教授)

研究題目: 「占領下沖縄の学校教育」

(3) 資料室の管理

沖縄平和祈念堂管理事務所に設置した資料室に各方面から寄贈された沖縄関係資料を受け入れ、閲覧・貸出の対応を行った。東京事務所においての閲覧・貸出は、平和祈念堂から資料を取り寄せて対応した。

(4) 情報誌『沖縄協会だより』の発行

当協会の事業及び沖縄に関する諸般の理解を深めるため、「沖縄協会だより」第20号～23号を発行し、内閣府、沖縄県、県内各市町村、沖縄関係団体等500カ所へ配布した。

(5) ホームページによる広報活動

当協会の事業を広報するため、インターネットを活用した沖縄協会ホームページの充実に努めた。

2. 沖縄関係団体等助成事業

沖縄県民の生活の向上及び沖縄県出身の青少年の健全育成に寄与し、沖縄における戦没者を慰霊するため、次の事業を行った。

(1) 沖縄女性の地位向上に寄与する研究及び活動に対する助成

沖縄女性の地位向上のため、社会的に意義ある研究及び活動を行う個人または団体に助成する事を目的とする「金城芳子基金」事業に対し7件の応募があった。同基金運営委員会で慎重審査の結果、「沖縄の貧困と子産み・子育てをめぐる選択 — シングルマザーへの生活史インタビュー」(平安名萌恵)を助成対象に選定し、5月7日に助成金を贈呈した。

(2) 沖縄県の生活文化の発展に寄与する研究及び活動に対する助成

沖縄の生活文化の発展に寄与する意義ある研究及び活動を行う県内居住の個人及び団体並びに琉球大学家政学科同窓生に助成することを目的とする「琉球大学家政学科同窓会基金」事業に対し1件の応募があった。同基金選考委員会で慎重審査の結果「沖縄県における有料老人ホームの実態調査について」(介護を考える女性の会：代表 盛根秀子)を選定し、6月3日に助成金を贈呈した。

(3) 本土で働きながら学ぶ沖縄県出身の青少年への勉学支援

勉学支援金審査委員会により決定した本土で働きながら学ぶ沖縄県出身の青少年10人(新規6人, 継続4人)に対し「働きながら学ぶ沖縄青少年支援基金」により勉学支援金を支給し勉学を奨励した。なお、制度発足以来の支援金受給者は延1,163人となった。また、本年度は記名基金へ1件(100,000円)の協力があり、基金総額は67,869,000円となった。

(4) 沖縄県豆記者交歓会の取材活動に対する協力

2021年度は実施していない。

(5) 「しづたまの碑」の管理料助成

沖縄戦における全滅家族を祀る「しづたまの碑」の管理料を「霞会館基金」の果実により(一財)沖縄県遺族連合会に助成した。

(6) 沖縄全戦没者追悼式の共催

6月23日の慰霊の日に沖縄県が主催した沖縄全戦没者追悼式を(一財)沖縄県遺族連合会及び(公財)沖縄県平和祈念財団とともに共催した。

3. 沖縄平和祈念堂事業

沖縄平和祈念堂を開館し、戦没者を追悼し平和を祈念する平和祈念堂の理念の普及に努めるとともに、堂宇及び付属施設の整備保全に努めた。

(1) 沖縄平和祈念堂の管理運営

① 参観者に平和祈念堂のパンフレットを配布するほか、沖縄平和祈念堂ホームページ

に施設の趣旨説明，施設の紹介，行事案内を掲載し，沖縄平和祈念堂の理念の普及と広報に努めた。

- ② 平和祈念行事の開催に際し，県内外のマスコミ各社の協力を得て行事の広報と理念の普及に努めた。
- ③ 大手旅行会社が企画する研修及び大手旅行社の沖縄支社と地元観光関連施設で構成される協力会の会合に積極的に参加し，情報交換と誘客に関する協力依頼に努めた。
- ④ インターネットを活用して平和祈念堂のホームページで平和祈念堂の予約状況の周知及び団体参観者の予約受付を行い，事務の効率化を図った。

参観者数

総参観者数：13,703人（有料入館者数：10,473人）

大人 …………… 8,039人（58.7%）

中・高校生 …… 2,434人（17.8%）

小人 …………… 3,230人（23.6%）

参観者の来堂方法：一般来堂者 …… 7,964人（76.0%）

旅行業者の案内によるもの …… 2,509人（24.0%）

平和祈念堂各種行事の参加人数：第41回こどもまつり …………… 0人
第6回ぬちぬぐすーじさびらコンサート
in摩文仁 …………… 0人
令和3年追悼式前夜祭 …………… 約10人
第44回摩文仁火と鐘のまつり …… 0人

- ⑤ 専門業者に委託して建築設備・消防設備・浄化槽・貯水槽の法定点検及び電気設備の年次点検を行った。
 - ⑥ 消防設備の法定点検及び各設備の小破修繕を行った。
 - ⑦ 沖縄平和祈念像，絵画等重要展示物の管理保全を図るため，警備会社に委託して夜間の警備に努めるほか，平和祈念堂構内の賠償責任保険を付保した。
 - ⑧ 業者に委託して敷地内の清掃，樹木の手入れ及び緑化に努め，参観者に安らぎを与えるよう環境作りを推進した。
 - ⑨ 広く一般の利用に供するため，戦没者を追悼する上で特別な日である6月23日沖縄慰霊の日及び8月15日終戦記念日を無料開放した。
- (2) 小中高校児童生徒が行う平和学習への協力
- ① 修学旅行等で沖縄平和祈念堂を訪れた児童生徒が実施する平和学習に対し，沖縄平和祈念堂の建設趣旨の説明や沖縄戦の記録映画の上映，会場提供等を行い，平和学習が円滑に運営されるように協力した。

- ② 修学旅行の下見に来た教師等に平和学習教材用DVD及び平和学習ハンドブックを寄贈し、平和学習の奨励に努めた。
- ③ 沖縄への修学旅行と平和祈念堂での平和学習を奨励するため、本土の小学校を中心とする教育関係機関を対象にホームページを通じて、平和学習教材用DVD「清ら島沖縄～摩文仁からのメッセージ～」と平和学習ハンドブック「清ら島 沖縄」改訂増補版の希望を募り、要望のあった学校等に配布した。
- (3) 各種団体が行う慰霊祭・演奏会・諸行事への会場提供及び協力
各種団体が戦没者を追悼し、世界の恒久平和を祈念して実施した次の慰霊祭・演奏会・諸行事に対して会場を提供し、会場設営の協力やマイク等の備品の貸出しを行い、事業の円滑運営に協力した。
- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| ① 念法真教総本山金剛寺慰霊祭(念法真教団) | 2021年10月23日 |
| ② 修養団捧誠会慰霊祭 | 2021年10月24日 |
| ③ 那覇ジュニアオーケストラ(琉球フィルハーモニー)動画配信の演奏撮影 | 2021年10月24日 |
- (4) 慰霊・平和祈念行事の開催
- ① こどもまつり
5月5日に第41回こどもまつり「こども琉球芸能奉納」は、終息の目途がたたないコロナ禍のため、出演者や観客の安全第一を考慮して堂内での奉納舞踊と古典音楽献奏を中止し、5日に小規模のセレモニーを行った。なお、こどもまつりを内外に周知するため堂内前室ホールにて過去の記録写真を用いて写真展を行った。
- ② 第6回ぬちぬぐすーじさびらコンサートin摩文仁
(主催：レクイエムコンサート実行委員会 共催：沖縄県立芸術大学・当協会)
6月27日に開催を予定していた沖縄県立芸術大学オーケストラによるコンサートはコロナ禍のため出演者や観客の安全第一を考慮し中止した。なお、本コンサートに替えて事前に収録した映像を県立芸術大学ホームページより27日に公開した。
- ③ 沖縄全戦没者追悼式前夜祭
6月22日に沖縄県、(一財)沖縄県遺族連合会及び(公財)沖縄県平和祈念財団の共催のもと、沖縄県が23日に行う沖縄全戦没者追悼式をより意義づけるため、その前夜祭を開催した(43回目)。今回はコロナ禍を考慮しご遺族・一般各位の参列を見合わせていただき、規模を縮小して式典と琉球古典音楽の録音献奏(昭和55年度1980年・第2回目の録音)のみ実施した。参列者は関係機関の代表者と役員。
また、前夜祭を厳粛な気持ちで迎えるため、平和祈念像のほこりを払う“浄め”を6月15日に行った。
- ④ 摩文仁・火と鐘のまつり
戦没者の霊を慰め、永遠の平和を祈念して、大晦日に開催を予定していた第44回

「摩文仁・火と鐘のまつり」は、コロナ禍のため参加者やボランティアの皆さんの安全第一を考慮し、まつりのメインは中止としたが、まつりに代わる小規模のセレモニーを役員と職員で実施した。また、まつりと新年を心あらたに迎えるため平和祈念像のほこりを払う“浄め”を12月15日に行った。

なお、これまで中止・規模縮小にしたこどもまつり・レクイエムコンサート・前夜祭・火と鐘のまつりを内外に周知するため、堂内前室にて過去の写真を用いて写真展を行った。あわせて、祈念像・祈念堂の外観・少年の像の写真も展示した。

(5) 美術館の運営及び絵画の活用

美術館展示絵画テーマ「宇宙即私の希求」を基に絵画を年2回入れ替えて展示した。

〔絵画の展示期間と展示作品数〕

- ・ 2021年6月～11月 作品25点
- ・ 2021年12月～2022年5月 作品25点

(6) 行幸啓等要人応接

今年度はコロナ禍の中で諸行事自粛のため来賓がなかった。

(7) 清ら蝶園の運営

命と平和のシンボルである蝶の飼育と放蝶を通して命と平和の尊さを参観者に伝えるために運営する清ら蝶園の食草及び蜜源の植栽を行い機能の充実に努めた。

(8) 修繕・整備

- ① 給水加圧ポンプモーター取替工事
- ② 給水加圧ポンプモーター室のドアの取替工事
- ③ 本堂分電盤 PL1・地下機械室分電盤 LB1 と動力盤 PB1・事務所 2 階分電盤 L2A 取替工事
- ④ 普天間アトリエ動産処分工事
- ⑤ 本堂屋上雨漏り補修工事

4. その他の事業

2021年度は、沖縄関係団体から助成・協力の要請が無かったので実施していない。

庶務の概要

1. 行政庁に対する提出及び届出並びに申請

2021年度事業報告書等及び2022年度事業計画書等の提出を行った。

2. 会議開催状況

理事会，評議員会及び勉学支援金審査委員会を次のとおりに開催した。

(1) 理事会

① 書面による理事会（2021年6月17日）

付議事項 第1号議案 2020年度事業報告及び収支決算報告について
第2号議案 決議の省略による定時評議員会について

④ 書面による理事会（2021年7月26日）

付議事項 議案 主たる事務所の移転について

⑤ 書面による理事会（2022年3月15日）

付議事項 第1号議案 2021年度収支予算の一部変更（案）及び運用財産の一部取り崩しについて
第2号議案 2022年度事業計画及び収支予算（案）等について
第3号議案 資産運用規程の一部変更について
第4号議案 決議の省略による評議員会について

(2) 評議員会

① 書面による定時評議員会（2021年6月29日）

付議事項 第1号議案 2020年度事業報告及び収支決算報告について
第2号議案 理事及び監事の改選について

② 書面による評議員会（2021年7月29日）

付議事項 議案 定款第2条第1項の変更について

③ 書面による評議員会（2022年3月28日）

付議事項 第1号議案 2021年度収支予算の一部変更（案）及び運用財産の一部取り崩しについて
第2号議案 2022年度事業計画及び収支予算（案）等について
第3号議案 理事4人の選任について
第4号議案 評議員1人の選任について

(3) 書面による勉学支援金審査委員会

審査事項 2021年度勉学支援生について

事業報告の附属明細

1. 研究広報事業

(2) 第43回沖縄研究奨励賞

選考過程と日程

月 日	選考過程
2021 年	
6 月 24 日	推薦応募の依頼・報道依頼 全国の学会、大学、研究機関等（約 300 件）に対して推薦応募依頼を、報道機関（約 40 件）に対して報道依頼を行った。
7 月 15 日	推薦応募受付開始
9 月 30 日	推薦応募締切 全国 10 都府県から 20 件の推薦応募が寄せられた。
10 月 10 日	書類選考（＝第 1 次選考）開始
11 月 10 日	選考委員会開催（部門別選考・全体選考実施） 部門別選考（＝第 2 次選考） 自然科学部門、人文科学部門、社会科学部門に分かれて選考を行った。 全体選考（＝最終選考） 部門別選考に残った候補者について全選考委員で選考を重ねた結果、自然科学部門の小野尋子氏、社会科学部門の萩原真美氏の 2 件を受賞者に決定した。
12 月 10 日	マスコミ発表
2022 年	
1 月 19 日	本賞及び副賞（目録）を受賞者に送付

1. 研究広報事業

(4)情報誌『沖縄協会だより』の発行

『沖縄協会だより』発行内容一覧

号数・発行月	主な内容
第20号 2021年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者、評議員、そして「移動する人」 評議員 重田辰弥 氏 ・トピックス ・沖縄協会主催・共催行事 ・応募案内 沖縄研究奨励賞 ・平和の絵―「戦争と平和」:西村計雄作「首里城の夢」<制作意図> ・沖縄平和美術館 沖縄出身画家作品紹介⑨南風原朝光作「奥入瀬」
第21号 2021年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・「93歳のお袋との里帰り沖縄旅行」 関東沖縄経営者協会会長 新垣 進 氏 ・トピックス ・沖縄協会主催・共催行事 ・応募案内 金城芳子基金募集案内 ・沖縄平和美術館 沖縄出身画家作品紹介⑩宮城健盛作「港への道」 ・平和の絵―「戦争と平和」:「地底の神秘」<制作意図>
第22号 2022年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・第43回沖縄研究奨励賞受賞者決定 沖縄本島内駐留米軍基地跡地利用計画に関する一連の地域提案型研究 :小野尋子氏 占領下沖縄の学校教育:萩原真美氏 ・トピックス ・沖縄協会関係事業他募集案内 ・平和の絵―「戦争と平和」西村計雄作「花風 哀しみをたたえて」<制作意図> ・沖縄平和美術館 沖縄出身画家作品紹介 11 山里永吉作「伊野波節」
第23号 2022年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第43回沖縄研究奨励賞受賞者研究題目の要旨とこれからの抱負 沖縄本島内駐留米軍基地跡地利用計画に関する一連の地域提案型研究 :小野尋子氏 占領下沖縄の学校教育:萩原真美氏 ・協会関係事業他募集案内 ・沖縄青少年勉学支援制度について ・平和の絵―「沖縄の桜」<制作意図> ・沖縄平和美術館 沖縄出身画家作品紹介 12 山元恵一作「花粉」

2. 沖縄平和祈念堂事業

(2) 小中高校児童生徒が行う平和学習への協力

②, ③ 平和学習 DVD, ハンドブックの寄贈及び配布

・平和学習 DVD 「さとうきびの詩 清ら島 沖縄～摩文仁からのメッセージ」



【DVD の内容】

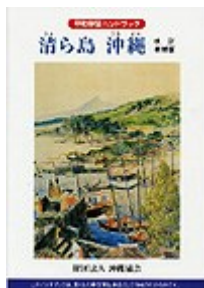
「プロローグ～摩文仁から悲しみの詩が聞こえる～」

1. 「沖縄の歴史と文化～琉球王国と伝統文化～」
2. 「沖縄戦の悲劇～住民を巻き込んだ地上戦～」
3. 「沖縄の今～米軍基地問題と再開発～」
4. 「摩文仁からのメッセージ～平和を願う沖縄のころ～」

「エピローグ～沖縄慰霊の日・平和の使者、摩文仁の空へ～」

付録データ [平和学習ハンドブック改定増補版の一部]

・平和学習ハンドブック 「清ら島 沖縄」



【ハンドブックの構成】

主題編

1. 沖縄の概要アジアから見た沖縄
2. 歴史のあらまし
3. 沖縄戦
4. アメリカ統治時代
5. 復帰後の沖縄
6. 平和への願い

補足編

1. 沖縄の自然
2. 伝統文化
3. 島々の姿等